商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。
修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

上記以外で、転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

『東芝家電修理ご相談センター』

フリーダイヤル **0120-1048-41**（トウシバ ヨイ）
（※フリーダイヤルは携帯電話・PHS など一部の電話ではご利用になれません。）

※携帯電話・PHS からのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、甲信越、東海、沖縄県）044-543-0220（通話料がかかります）
西日本地区（上記以外）06-6440-4411（通話料がかかります）

新商品などの商品選びや、本機に関する取扱方法などのご相談
上記についてのお問い合わせは

『東芝 DVD インフォメーションセンター』

（一般回線からのご利用は）フリーダイヤル（通話料無料） **0120-96-3755**
（フリーダイヤルは携帯電話・PHS など一部の電話ではご利用になれません）

（携帯電話からのご利用は）ナビダイヤル（通話料有料） **0570-00-3755**
（PHS・一部の IP 電話などでは、ご利用になれない場合があります）

月～土　10:00 ～ 20:00（当社指定休業日等を除く）　日曜日・祝日　10:00 ～ 16:00

- 「東芝DVDインフォメーションセンター」は株式会社東芝デジタルメディアネットワーク社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、ご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 東芝グループ会社または協力会社が対応させていただくことが適切と判断される場合に、お客様の個人情報を提供することがあります。

愛情点検

★長年ご使用のポータブル DVD プレーヤーの点検を！

このような症状はありませんか	● 再生しても音や映像が出ない ● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 水や異物がはいった	● ディスクが傷ついたり、取り出しができない ● ACアダプターが異常に熱くなる ● その他の異常や故障がある	お願い	故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

株式会社 東芝
デジタルメディアネットワーク社
〒105−8001　東京都港区芝浦1−1−1
＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

ⒽPX1D00000333

TOSHIBA

東芝ポータブルDVDプレーヤー

形名 SD-P50DT

取扱説明書

「JIS C 0950に基づくマーク」

- このたびは東芝ポータブルDVDプレーヤーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- お求めのポータブルDVDプレーヤーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- 最初に安全上のご注意をお読みください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りになり、内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本体の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

はじめに
準備
再生
テレビを見る
機能設定
接続
その他

本書の見かた・使いかた

このページを開いて使用すると便利です。

操作方法は、特にことわりのない限り、リモコンでの操作を中心に説明しています。本体のボタンは、リモコンのボタンとマークが同じであれば使いかたも同じです。

全体図

内蔵アンテナ 55
テレビを見るとき伸ばして使います。

液晶画面

スタンド
本体を立てて見るとき後方に開きます。
・スタンドに力を加えて無理な角度に開こうとしないでください。故障の原因になります。

① トップメニュー 35	DVDビデオディスクのトップメニューを表示します。
② メニュー	ディスクのメニューなどを表示します。
② 番組表 58	番組表を表示させるときに使います。
③ 入出力切換 29	モードを切換えます。
④ 音量 35	スピーカーとヘッドホーンの音量を調節します。
⑤ 方向ボタン 35	項目や入力位置を選びます。
⑥ 決定 35	選んだ内容を決定します。
⑦ スキップ 38	タイトル、チャプター、トラックへスキップします。
⑧ 一時停止 35 37	再生を一時停止およびコマ送りします。
⑨ 停止 34	再生を止めます。
⑩ 再生 34	再生を開始します。
⑪ 電源表示 26 28	電源の状態（入／切／充電中）を表示します。
⑫ リモコン受光部 24	リモコンはここへ向けて操作します。

リモコン くわしくは、 ▶ 内ページをご覧ください。

▭ :「シフト」を押しながらそのボタンを押すと働きます。

おもな機能

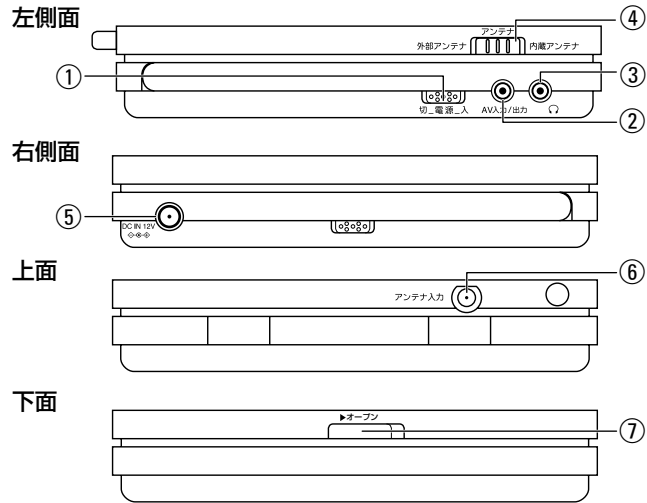
① **メニュー**	ディスクのメニューなどの表示
② **入出力切換**	モードの切換え
③ **トップメニュー**	DVDビデオディスクのトップメニューの表示
④ **字幕**	字幕の表示と選択
⑤ **音声**	音声の選択
⑥ **一時停止**	再生の一時停止
⑦ **停止**	再生の停止
⑧ **早戻し**	再生の早戻し
⑧ **スロー**	スローモーション再生
⑨ **方向ボタン**	項目や入力位置の選択
⑩ **スキップ**	タイトル、チャプター、トラックの頭出し
⑪ **番号ボタン**	数字の入力
⑪ **＋10ボタン**	10の位の数字の入力
⑫ **シフト**	ボタンの機能の切換え
⑬ **ズーム**	再生画像の拡大
⑬ **ランダム**	順不同の再生
⑭ **セットアップ**	設定項目の一覧表示
⑮ **T**	見たいシーンの指定画面の表示
⑮ **メモリー**	再生する順番の設定
⑯ **アングル**	カメラアングルの切換え
⑰ **A－B**	指定区間のくり返し再生
⑰ **リピート**	くり返し再生
⑱ **リターン**	前画面の再表示
⑱ **クリア**	入力値の取り消し
⑲ **再生**	再生の開始
⑳ **早送り**	再生の早送り
⑳ **スロー**	スローモーション再生
㉑ **決定**	選んだ内容の決定
㉒ **映像調整**	画質や画面サイズの設定
㉓ **音場効果**	音場効果の選択
㉔ **音量**	音量の調整
㉕ **表示**	操作状況や情報の表示

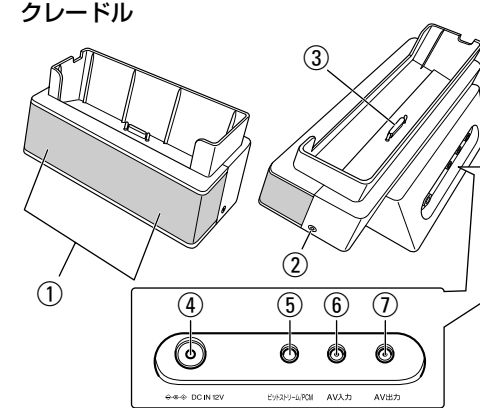
1）メニューボタン
DVDビデオディスクに記録されているメニュー画面などを表示するときに使います。
メニュー画面での操作は、「トップメニューを使う」35▶ と同様の手順で行います。ディスクによっては、メニュー画面が記録されていないものもあります。

左側面

右側面

上面

下面

① 電源スイッチ 28▶ 本体の電源を入り切りします。
② AV入力／出力端子 70▶／71▶
- 他の機器の映像を本機の液晶画面で見たいときに、お使いのビデオ機器の出力端子とつなぎます。
- 本機で再生する映像や音声をテレビやステレオで楽しみたいときに、テレビやステレオの映像・音声入力端子とつなぎます。

③ ヘッドホーン端子 33▶ ヘッドホーンをつなぎます。
④ アンテナ切換えスイッチ 55▶ 使用するアンテナによって切り換えます。
⑤ 電源入力端子 26▶ 付属のACアダプターをつなぎます。
⑥ 外部アンテナ入力端子 55▶ 付属のアンテナまたは市販の75Ωアンテナケーブルとつなぎます。
⑦ オープンスライドスイッチ ディスクを入れるとき、スライドさせてディスクカバーを開けます。

① スピーカー 50▶
② ヘッドホーン端子 33▶ ヘッドホーンをつなぎます。
③ プレーヤー接続端子 26▶ 本体とクレードルを接続します。
④ 電源入力端子 26▶ 付属のACアダプターをつなぎます。
⑤ ビットストリーム／PCM音声出力端子 72▶ お使いのAVアンプのデジタル音声入力端子とつなぎます。
⑥ AV入力端子 71▶ 他の機器の映像を本機の液晶画面で見たいときに、お使いのビデオ機器の出力端子とつなぎます。
⑦ AV出力端子 70▶ 本機で再生する映像や音声をテレビやステレオで楽しみたいときに、テレビやステレオの映像・音声入力端子とつなぎます。

商品の保証とアフターサービス

保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

補修用性能部品について

- 当社は、ポータブルDVDプレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有して
- います。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間	お買い上げ日から1年間です。ただし、業務用にご使用の場合、あるいは特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼されるときは～持ち込み修理

商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。
修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

「故障かな…？と思ったときは」のページをご覧になって調べていただき、なお異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店に商品と保証書をご持参のうえ修理をご依頼ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容			
品　　名	ポータブルDVDプレーヤー		
形　　名	SD-P50DT	お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に		
ご 住 所	付近の目印なども合わせてお知らせください		
お 名 前		電 話 番 号	
お買い上げ店名	お客さまへ…おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。 ☎（　　）　―		

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

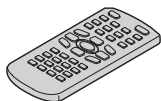
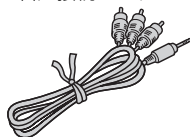
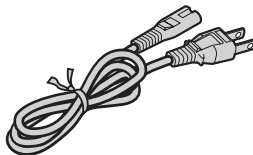
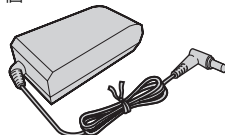
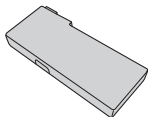
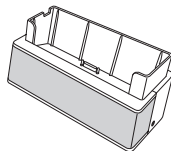
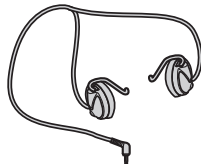
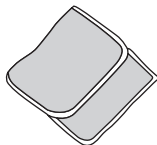
修理料金の仕組み

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。

＋

部品代	修理に使用した部品の代金です。

付属品

本機には以下の付属品があります。お確かめください。

*ACアダプター、電源コード、バッテリーパック、クレードルは、付属のもの以外は使用しないでください。
また、これらの付属品を本機以外に使用しないでください。

もくじ

はじめに　お使いになる前に必ずお読みください。

安全上のご注意 8
使用上のお願い 17
ディスクの取扱いと用語 20
　再生できるディスク 20

準備

リモコンの準備 24
バッテリーパックについて 25
電源の接続／充電 26
電源の入れかた／切りかた 28
モードを切り換える 29
誤操作を防ぐ（ホールド機能） 30

再生

ディスクを入れる 32
音声を聞く 33
ディスクを再生する 34
　再生を一時停止する（静止画再生） 35
　スピーカーとヘッドホーンの音量を調節する 35
　トップメニューを使う 35
再生の速さを変える 37
　早戻し／早送りする 37
　コマ送りで再生する 37
　スローモーションで再生する 37
見たいシーンを探す 38
　前後のチャプター／トラックへスキップする 38
　番号を指定してシーンを探す 38
　目印をつけて好きなシーンを再生する（ブックマーク機能） 39
順不同に再生する（ランダム再生） 40
くり返し再生する（リピート再生） 40
　範囲を指定してくり返し再生する（A-B リピート再生） 40
　タイトル、チャプターまたはトラックをくり返す 41
好きな順番で再生する（メモリー再生） 42
拡大する（ズーム再生） 43

アングル（場面の角度）を切り換える.................... 44
字幕の言語を切り換える.. 44
音声を切り換える... 45
音楽／動画・画像ファイルを再生する................ 46
広がりのある音にする... 50
液晶画面の映りを調整する.................................... 50
操作状況や情報を表示させる................................ 51

テレビを見る

本機でご覧になれるテレビ放送............................ 54
ワンセグ放送を見るときには....................................55
ワンセグ放送を見る... 56
チャンネル設定をする（オートプリセット）.............56
テレビを見る...57

機能設定

初期設定の変更と機能の設定................................ 62

接続

テレビの画面で見る... 70
他の機器の映像を本機の液晶画面で見る............ 71
オーディオ機器で音声を楽しむ............................ 72
AVアンプ（デジタル音声入力端子つき）とつなぐ...........72
アナログ音声入力端子つきオーディオ機器とつなぐ.......73

その他

出力される音声の種類... 76
故障かな…？と思ったときは................................ 77
仕様... 79
商品の保証とアフターサービス ....81、裏表紙

安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明

表示	表示の意味
⚠ 危険	"取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと" を示します。
⚠ 警告	"取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること" を示します。
⚠ 注意	"取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること" を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例

図記号	図記号の意味
⃠ 禁止	"⃠" は、**禁止**(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指示	"●" は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注意	"△" は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

異常や故障のとき

⚠警告

■ 煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認しお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

■ 落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

■ 電源コードが傷んだり、プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

使用するとき

⚠警告

■ 修理・改造・分解はしないこと

火災・感電の原因となります。
点検・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 内部に異物を入れないこと

ステープル、クリップなどの金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 雷が鳴りだしたら、本機や電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。

■ 水にぬらしたりしないこと

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

■ 航空機内で使用するときは、航空会社の指示に従うこと

航空法で、離着陸時に本機を使用することは禁止されています。指示に従わず使用すると、運行装置に影響を与え、事故につながるおそれがあります。

■ ピックアップレンズに目を近づけたり、レーザー光を見ないこと

本機は通常、レーザー光を見られないようになっています。万が一故障や異常によって、レーザー光が発光された場合に見つめたりすると、視力障害の原因となります。

■ 歩行中や、乗り物を運転しながら使用しないこと

交通事故の原因となります。

■ 車の中などで使用するとき、窓から付属のアンテナを出さないこと

他の人にけがを負わせる原因となります。

⚠注意

■ ディスクカバーを閉めるとき、手を入れないこと

手をはさみ、けがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと

ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

■ ヘッドホーンをご使用になるときは、音量を上げすぎないこと

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ 回転中のディスクには触れないこと

ディスクカバーを開いたとき、ディスクの回転が完全に停止していないことがあります。回転しているディスクに触れると、けがや故障の原因となります。

■ 電源を入れる前には音量を最小にすること

電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

■ 液晶表示画面が破損し、液体がもれてしまった場合は、液体を吸い込んだり、飲んだりしないこと

中毒を起こすおそれがあります。万一口や目にはいってしまった場合は、水で洗い流し、医師の診察を受けてください。手や服についてしまった場合は、アルコールなどでふき取り、水洗いしてください。

設置するとき

■ 屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かないこと

火災・感電の原因となります。

■ 上にものを置かないこと

- ●金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
- ●重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

■ ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと

本機が落ちて、けがの原因となります。

■ ひざの上などで使用しないこと

禁止

本機は多少温度が上がります。ひざの上などでのご使用は低温やけどの原因となります。低温やけどは、体温より高い温度のものを長時間あてていると紅斑、水疱等の症状をおこすやけどのことです。なお、自覚症状をともなわないで低温やけどになる場合もありますので、特に肌の弱い方はご注意ください。

⚠注意

■ 温度の高い場所に置かないこと

禁止

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

■ 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと

禁止

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

■ 風通しの悪い場所に置かないこと

禁止

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります

●じゅうたんや布団の上に置かないでください。
●テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
●押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
●壁に押しつけないでください。

■ 移動させる場合は、ACアダプター・外部との接続コードをはずすこと

指示

ACアダプターを抜かずに運ぶと、コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続コードなどをはずさずに運ぶと、本機が落下し、けがの原因となることがあります。

ACアダプターと電源コードについて

⚠警告

■電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること

指　示

交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

■ACアダプターを分解・改造・修理しないこと

分解禁止

火災・感電の原因となります。

■電源コードは

禁　止

- 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと

火災・感電の原因となります。

■時々電源プラグを抜いて点検し、プラグやプラグの取り付け面にゴミやほこりが付着している場合はきれいに掃除すること

指　示

プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。
(電源プラグは待機状態のときに抜いてください。)

■通電中のACアダプターにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かないこと

禁　止

火災、故障の原因となることがあります。

⚠注意

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■ **電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと**

引っ張り禁止

コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。プラグを持って抜いてください。

■ **ACアダプターと電源コードは、付属のものを使用すること**

指　示

指定以外のACアダプター、電源コードを使用すると、火災・故障の原因となります。付属の電源コードは国内向けです。海外で使用する場合は、使用する地域の規格に適合した電源コードをご使用ください。

■ **旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと**

プラグを抜け

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

■ **付属のACアダプターを本機以外の他の用途に使用しないこと**

禁　止

本機以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

■ **電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込むこと**

指　示

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

バッテリーパックについて

⚠危険

■ 指定されたバッテリーパックを使用すること

指示

指定以外のバッテリーパックを使用すると、火災・故障の原因となります。

■ バッテリーパックにクギを刺したり、カナヅチでたたいたり、踏みつけたりしないこと

禁止

電極がショートすると発熱、破裂、発火の原因となります。

■ バッテリーパックを加熱・分解・ショートしたり、火の中へ投入したりしないこと

禁止

破裂・火災の原因となります。

■ バッテリーパックの電極（＋端子と－端子）を針金などの金属で接続しないこと。また、金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに持ち運んだり、保管しないこと

禁止

電極がショートすると、発熱、破裂、発火の原因となります。
バッテリーパックを持ち運ぶときや保管するときは、電極が金属に触れないように、ビニールなどで包んでください。

■ 不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで電池リサイクル協力店へお持ちください。
お持ち込みになるときは、＋端子、－端子の電極に絶縁テープを貼ること

指示

電極がショートすると、破裂、発火のおそれがあります。

■ バッテリーパックを指定された充電方法以外で充電しないこと

指示

破裂、発火の原因となります。

⚠注意

■ バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認すること

指示

正しく取り付けられていないと、持ち運びのときにバッテリーパックがはずれ落ちて、けがの原因となります。

コイン型電池について

⚠警告

■ コイン型電池は、幼児の手の届く場所に置かないこと

コイン型電池をお子様が飲み込んだりすると、中毒の原因となります。もし、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠注意

■ リモコンに使用しているコイン型電池は

- **指定以外の電池は使用しないこと**
- **極性表示［(＋)と(−)］を間違えて挿入しないこと**
- **充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中へ入れないこと**
- **表示されている［使用推奨期限］を過ぎたり、使い切った電池はリモコンに入れておかないこと**

これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目にはいったときはすぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

■ コイン型電池を廃棄する場合は、(＋)と(−)にそれぞれビニールテープなどをはること

そのまま廃棄すると、金属類でのショートによって、液もれ・発熱・破裂し、やけど・けがの原因となることがあります。廃棄する場合は、地域や地方自治体などの規則に従って、定められた場所に出してください。

■ 開封したコイン型電池を保管・携帯するときは、ポリ袋などに入れること

そのまま保管・携帯すると、金属類でショートして、液もれ・発熱・破裂し、やけど・けがの原因となることがあります。

使用上のお願い

取扱いに関すること

■ 液晶画面を傷つけたり衝撃を与えないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。

■ ディスクカバーの中にあるピックアップレンズには、触れたり、清掃をしたりしないでください。市販されているクリーニングキットも使用しないでください。機能に支障をきたす場合があります。

■ 移動させるとき
引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、振動が伝わらないように、傷がつかないように毛布などでくるんでください。

■ 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。

■ 長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。

■ ふだん使用しないとき
必ず、ディスクを取り出し、電源を切っておいてください。

■ 長期間使用しないとき
機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、使用してください。

置き場所に関すること

■ 本機は水平な場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所、走行中の車内など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。

■ 直射日光のあたる場所、熱器具の近く、締め切った車内など、温度が高くなる場所に置かないでください。故障の原因となります。

■ 本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

お手入れに関すること

■ 本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりする原因となります。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

■ 液晶画面についたよごれなどは、乾いた柔らかい布でふきとってください。

結露(露付き)について

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを“結露(露付き)”といいます。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。

■“結露”はこんなときおきます。

- 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
- 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき

■結露がおきそうなときは、本機をすぐに使用しない

結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機のACアダプター、電源プラグをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたたまり水滴がとれますので、しばらく放置してからご使用ください。

レーザー製品の取扱いについて

- 本機は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただいたあとも必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- 本取扱説明書に記載された以外の調整・改造を行なうと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
- 本機は、映像信号の読み取りのためにレーザーを使っています。弱いレーザー光のため、人体に大きな影響はありませんが、安全のため、絶対に製品を分解しないでください。

廃棄について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

操作説明と実際の動作

この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。

DVDビデオディスク、ビデオCDは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行なうため、操作したとおりには動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

ボタン操作中に画面に［ ⃠ ］が表示されることがあります。［ ⃠ ］が表示されたときは、本機またはディスクがその操作を禁止しています。

リージョン番号について

本機のリージョン番号は2に設定されています。DVDビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に②のように2が含まれているか、またはALLが表示されていないと、本機では再生できません。（リージョン番号が不適応の場合には画面に表示がでます。）

ディスクの取扱いと用語

再生できるディスク

本機では以下のディスクが再生できます。

ディスク	マーク（ロゴ）	ディスクの大きさ	内容
DVDビデオディスク	DVD VIDEO	12cm/8cm	・映像（動画）+音声
DVD-RWディスク	DVD RW	12cm	・映像（動画）+音声（Videoモード／ VRモード） *ファイナライズ処理がされたもの
DVD-Rディスク	DVD R R4.7	12cm	・映像（動画）＋音声（Videoモード／ VRモード） *ファイナライズ処理がされたもの
ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO / VIDEO CD	12cm/8cm	・映像（動画）+音声
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	12cm/8cm（CDシングル）	・音声
CD-ROM	COMPACT disc	12cm	・音声（MP3/WMAファイル） ・動画（DivXファイル） ・静止画（JPEGファイル）
CD-R/RWディスク	COMPACT disc ReWritable	12cm	・音声（MP3/WMAファイル） ・動画（DivXファイル） ・静止画（JPEGファイル） * VIDEO CD（ビデオＣＤ）フォーマットのディスクも再生できます。ただし、ディスクによっては再生できないものもあります。

お知らせ

- 左表以外のディスクは再生できません。
- 左表のマークが表示されていても、データの作り方やディスクの状態など、ディスクによっては再生できない場合があります。
- 左表のマークが表示されていても、DVD-RAMや規格外のディスクなどは再生できません。
- 本機はNTSCテレビ方式に適合したプレーヤーです。他のTV方式（PAL、SECAM）表示のディスクには使用できません。

DVDはDVDフォーマット/ロゴ ライセンシング株式会社の商標です。

■ ビデオCDについて

本機は、PBC付きビデオCD（バージョン2.0）に対応しています。（PBCとはPlayback Control（プレイバック コントロール）の略です。）ディスクによって、２種類の再生を楽しめます。

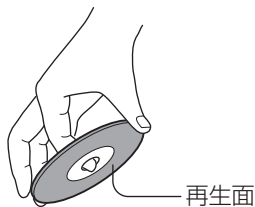
PBCなしビデオCD(バージョン1.1)

音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（動画）を再生できます。

PBC付きビデオCD(バージョン2.0)

PBCなしのビデオCDの楽しみかたに加えて、画面に表示されるメニューを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（メニュー再生）。この取扱説明書で説明されている機能が働かない場合があります。

ディスクの取り扱いかた

● 再生面には手を触れないでください。
たとえば、図のように持ってください。

● ディスクに紙やシールを貼らないでください。
● ディスクを折り曲げたり、表面を傷つけないでください。

ディスクのお手入れのしかた

● ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。
● シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの保管のしかた

● 直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
● 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
● ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律で禁止されています。

これに従い本機では、著作権保護技術を適用しています。

ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きによって、複製した画像は乱れます。

本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

準備

ご使用になる前の準備です。

● リモコンの準備

● バッテリーパックについて

● 電源の接続／充電

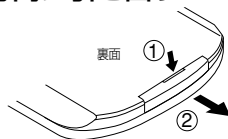
● 電源の入れかた／切りかた

● モードを切り換える

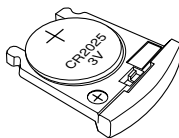
● 誤操作を防ぐ（ホールド機能）

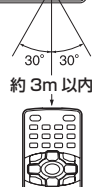
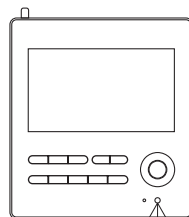
リモコンの準備

付属のリモコンは、所定のコイン型電池をいれてお使いください。コイン型電池をお使いになるときは、（16ページ）の注意をよくお読みください。

1 **リモコンを裏返し、底部にあるツメを、矢印①の方向に押しながら、電池ケースを矢印②の方向に引き出す**

指先や爪を傷めないようご注意ください。

2 **コイン型電池CR2025の⊕面を上にして、電池ケースにはめこむ**

電池をケースから落とさないようご注意ください。

3 **コイン型電池をはめた電池ケースを、リモコンに入れる**

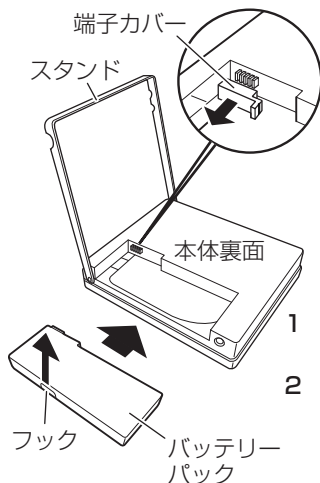
リモコンの操作範囲

本体から以下の範囲内で操作してください。

距離：リモコン受光部正面から約3m以内
角度：リモコン受光部から上下左右約30度以内
リモコン受光部に、太陽光や蛍光灯など強い光があたると、リモコンが動作しないことがあります。

- 受光部が見える正面の位置から操作してください。
- 落としたり、衝撃を与えないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- 分解しないでください。
- リモコンが動作しなかったり、到達距離が短くなったときは、新しいコイン型電池と交換してください。
- 指定以外のコイン型電池、または異物を挿入すると、リモコンの故障の原因となります。

バッテリーパックについて

本機をはじめてお使いになる前に、バッテリーパックを取り付けてください。

■ バッテリーパックの取り付けかた

お買い上げ時は、端子に保護のためのカバーがついています。
このカバーをはずしてから、バッテリーパックを以下の手順で取り付けてください。

（バッテリーパックを使わないときは、端子カバーをかぶせておいてください。）

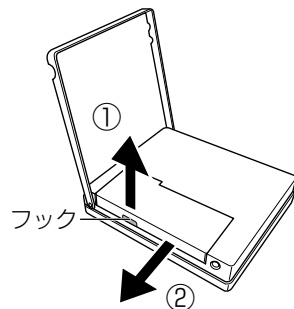
1 **本体を裏返し、スタンドを上げる**

2 **バッテリーパックのフックを上げながら、本体の形状に合わせてバッテリーパックをスライドさせ、最後まで確実にはめこむ**

⚠危険

- **指定されたバッテリーパックを使用すること**
  指定以外のバッテリーパックを使用すると、火災・故障の原因となります。
- **バッテリーパックを加熱・分解・ショートしたり、火の中へ投入しないこと**
  破裂・火災の原因となります。
- **バッテリーパックは、正しく取り付けること**
  バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認すること。バッテリーパックがはずれ落ちて、けがの原因となります。

■ バッテリーパックの取り外しかた

①のフックを上げながら、②の方向にスライドさせて、バッテリーパックを外す

お願い

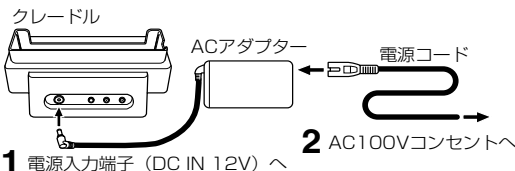
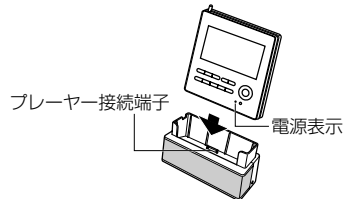
- 本機の動作中（電源表示が緑色またはオレンジ色に点灯中）はバッテリーパックを取りはずさないでください。

電源の接続／充電

本機をはじめてお使いになるときや、電池残量が少なくなったら、バッテリーパックを充電してください。
本機を操作中でも充電ができます。

■クレードルを使って充電する

1　クレードルにACアダプターを接続する

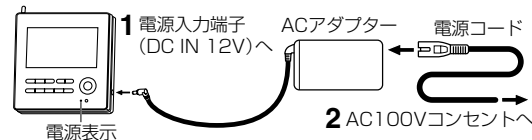
2　ACアダプターと電源コードをつないで、AC100Vコンセントに差し込む

3　本体をクレードルにおく

充電がはじまり、電源表示がオレンジ色に点灯します。

⚠警告

- **電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること**
  交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと**
  感電の原因となることがあります。
- **付属のACアダプターと電源コードを使用すること**
  指定以外のものを使用すると、火災・故障の原因となります。
  通電中、ACアダプターの表面温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。
  持ち運ぶときは、電源プラグを抜き、温度が下がってから行なってください。

■本体で直接充電する

1　本体にACアダプターを接続する

2　ACアダプターと電源コードをつないで、AC100Vコンセントに差し込む

充電がはじまり、電源表示がオレンジ色に点灯します。

ご注意

- 付属のACアダプターと電源コードは、本製品以外には使用しないでください。

バッテリーパックの充電時間の目安	約2.5時間*

• あくまでも目安です。バッテリーパックの状態や周囲の温度などによって変わります。

バッテリーパック使用時の連続再生時間の目安	最大約2.5時間*

* あくまでも目安です。数値を保証するものではありません。
* バッテリーパックの状態、使用条件、周囲の温度などによって変わります。
* 低温の環境で使用すると、連続再生時間が短くなります。

お知らせ
• 充電は周囲の温度が5℃～35℃で行なってください。
• 電源表示がオレンジ色に点灯している間（充電中）は、ACアダプターと電源プラグを抜かないでください。
• 充電中や使用中はバッテリーパックがあたたかくなりますが、異常ではありません。

■ バッテリーパックの寿命について

バッテリーパックには寿命があります。正常に充電しても使用できる時間が著しく短くなった場合は、新しいバッテリーパックをお求めください。お求めについては、お買い上げの販売店または裏表紙に記載の「東芝DVDインフォメーションセンター」にお問い合わせください。（形名：SD-PBP05）

■ バッテリーパックのリサイクルについて

不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで電池リサイクル協力店へお持ちください。その場合、ショート防止のために、必ず金属端子部にテープ等を貼って絶縁してください。

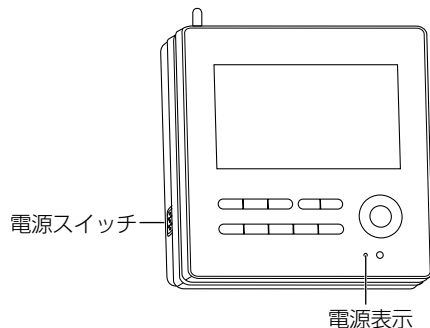
一般社団法人 JBRC　ホームページ

http://www.jbrc.com

リサイクル協力店の検索を行なうと、全国各地のリサイクル協力店が簡単に見つかります。

準備

電源の入れかた／切りかた

電源を入れる場合は**電源スイッチ**を「入」に、切る場合は「切」にします。

電源の状態	電源スイッチ	電源表示
入	切＿電源＿入	緑
切	切＿電源＿入	消灯
充電中	切＿電源＿入　切＿電源＿入	オレンジ色

電源スイッチを「切」にしているときも、充電できます。

モードを切り換える

本機では、モードを切り換えることでディスクやテレビ、つないだビデオ機器などのさまざまな映像が楽しめます。
必要に応じて、以下のように切り換えてお使いください。

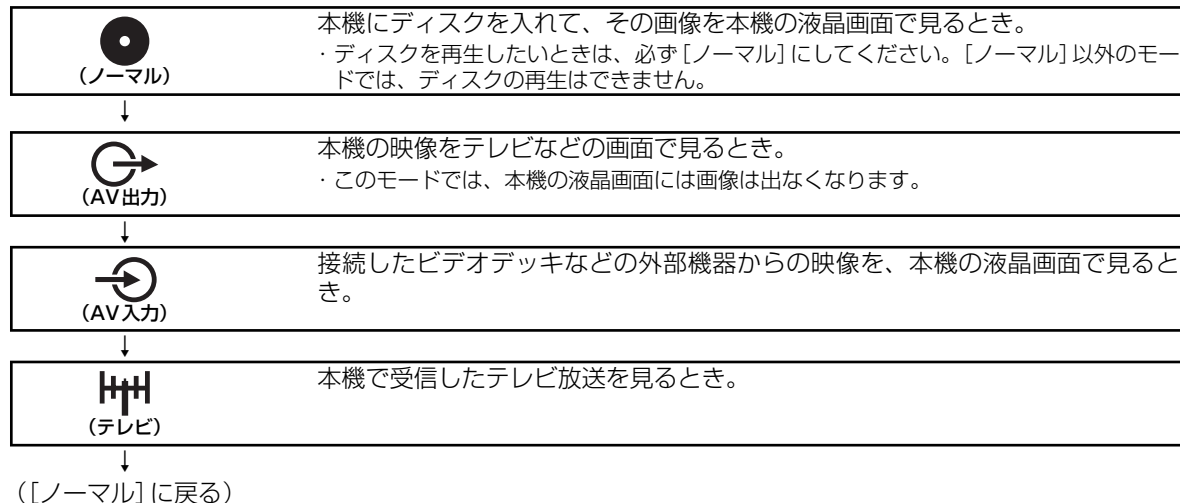
「入出力切換」をくり返し押して、モードを選ぶ

押すたびに、本機の液晶画面でモードの表示が以下のように切り換わります。

モード	説明
（ノーマル）	本機にディスクを入れて、その画像を本機の液晶画面で見るとき。 ・ディスクを再生したいときは、必ず［ノーマル］にしてください。［ノーマル］以外のモードでは、ディスクの再生はできません。
（AV出力）	本機の映像をテレビなどの画面で見るとき。 ・このモードでは、本機の液晶画面には画像は出なくなります。
（AV入力）	接続したビデオデッキなどの外部機器からの映像を、本機の液晶画面で見るとき。
（テレビ）	本機で受信したテレビ放送を見るとき。

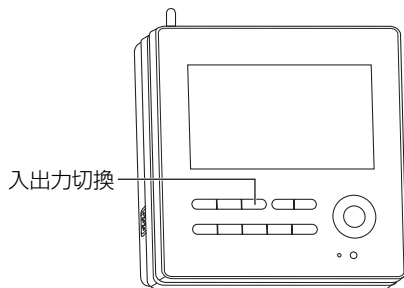
↓

（［ノーマル］に戻る）

準備

誤操作を防ぐ（ホールド機能）

この機能は、持ち運び中などに誤って本体のボタンが押され、誤操作するのを防ぎます。

この機能が働いている間は、本体のボタン操作はできません。（「**電源**」スイッチと「**アンテナ**」切り換えスイッチを除く）

本体の「**入出力切換**」を約３秒以上押す

本体の画面に（ 🔒 ）が表示されます。

ホールド機能が働いているときに、本体のボタンが押されると、約１秒（ 🔒 ）が表示されます。

■ ホールド機能を解除する

本体の「**入出力切換**」を約３秒以上押す

本体の画面に（ 🔓 ）が表示されます。

再生

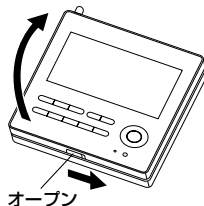
ディスクを再生してみましょう。

- ディスクを入れる
- 音声を聞く
- ディスクを再生する
- 再生の速さを変える
- 見たいシーンを探す
- 順不同に再生する（ランダム再生）
- くり返し再生する（リピート再生）
- 好きな順番で再生する（メモリー再生）
- 拡大する（ズーム再生）
- アングル（場面の角度）を切り換える
- 字幕の言語を切り換える
- 音声を切り換える
- 音楽／動画・画像ファイルを再生する
- 広がりのある音にする
- 液晶画面の映りを調整する
- 操作状況や情報を表示させる

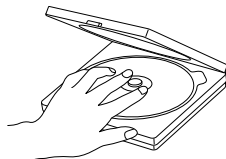
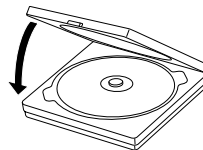
ディスクを入れる

再生できるディスクは、（ 20 ページ）でご確認ください。

1 本体の「オープン」スライドスイッチをスライドさせ、本体上部をあける

はじめてお使いになるときは、ディスクカバー内にある保護シートを取り出してください。

2 ディスクをはめる

再生面を下にして、カチッと音がするまでディスクの中央付近を指で確実に押します。

はめかたが不完全だとディスクが認識されず、正常な再生ができません。また、ディスクを傷つける原因になります。

3 本体上部（ディスクカバー）を閉める

■ディスクを取り出すときは

本体の「**オープン**」スライドスイッチをスライドさせ、ディスクカバーをあけ、完全に停止したディスクを（回転が続いていることがありますのでご注意ください）、ふちから静かに持ち上げてディスクホルダーからはずします。

クレードルを使用しているときは、本体をクレードルからはずしてディスクを取り出してください。

⚠注意

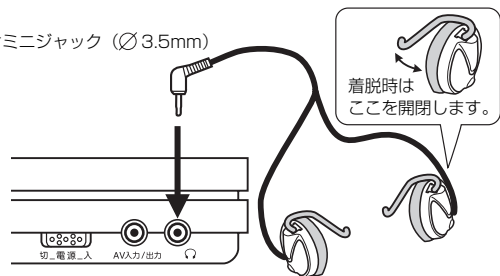
- **回転中のディスクに触れないこと**
  けがや故障の原因となります。
- **ディスクカバーを閉めるとき、手を入れないこと**
  手をはさみ、けがの原因となることがあります。

禁　止

- **ディスクカバーは、無理な角度まであけないこと**
  故障の原因になります。
- **ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと**
- **本機で再生できないディスクやディスク以外のものを入れないこと**
- 再生中に本機を傾けたり、揺らしたり移動させたりしないでください。ディスクを傷めてしまいます。
- **長時間の再生のあとで、ディスクホルダーの中央部に触れないこと**
  ホルダーの中央部が熱くなっていることがあります。ディスクを取り出すときは十分注意してください。

音声を聞く

本体だけで再生するときには、ヘッドホーンを接続して音声をお聞きください。

クレードルを使っているときは、クレードルのスピーカーから音声が聞こえます。

- 接続するときは、いったん音量を下げ、再生が始まったらお好みの音量に調整してください。
- ヘッドホーンの抜き差しは、誤動作防止のため、本機の電源を切ってから行なってください。
- ヘッドホーンは、クレードルにも接続することができます。

⚠注意

- ヘッドホーンをご使用になるときは、音量を上げすぎないこと。耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ディスクを再生する

DVD-V　VCD　CD

■ 準備
- 本機の電源を入れます。
- 再生するディスクを本機に入れます。

ご注意！

移動中の車内などで本機を使用しないでください。振動などで、本来の再生ができなくなったり、ディスクが傷つくおそれがあります。

再生

1 「入出力切換」をくり返し押して、[◉（ノーマル）] を選ぶ

2 「再生」を押す

再生が始まります。

- トップメニューが記録されたDVDビデオディスクや、プレイバックコントロール（PBC）付きビデオCDを再生したときは、メニュー画面が表示されます。DVDビデオディスクのときは「トップメニューを使う」をご覧ください。
- ディスクメニュー画面は、トップメニューボタンや、メニューボタンを押して表示させる場合があります。（DVDビデオディスクによって異なります。）
- 音楽用CDのときは、メニューが表示されます。操作方法は、「音楽／動画・画像ファイルを再生する」をご覧ください。

3 再生を止めるには、「停止」を押す

続き再生機能（レジューム再生）について

再生を停止した位置を本機が記憶し、その続きから再生できる機能です。
再生中に「停止」を押して再生を停止したあとに「再生」を押すと、停止した位置から再生がはじまります。

- 続き再生の情報は、ディスク５枚分まで本機に記憶することができます。６枚目のディスクを入れると、一番古い記憶情報が消去されます。
- 続き再生をしないで、始めから再生したいときは、「停止」を２回押すと、記憶情報が消去されます。

お知らせ
- PBC付きビデオCDを、「PBC」を「オン」の設定で再生しているとき（「機能設定」章を参照）にはこの機能は働きません。
- ディスクによって、レジューム再生の始まる位置が変わることがあります。

再生を一時停止する(静止画再生)

再生中に、「**一時停止**」を押す

画像が静止し、音声が消えます。

普通の再生に戻すには、「再生」を押します。

スピーカーとヘッドホーンの音量を調節する

音量ボタンで調節する

▲:音量を上げる

▼:音量を下げる

お願い

- 再生が終わったあと、メニュー画面などが表示されるディスクがあります。テレビに接続してご覧の場合、メニュー画面などの静止画面が長く続くと、画面に焼き付きが生じることがあります。必ず「停止」を押して、再生を終了してください。

トップメニューを使う

DVD-V VCD CD

1 「**トップメニュー**」を押す

トップメニューが表示されます。

2 **方向ボタン**(▲/▼/◀/▶)を押して、再生したいタイトルを選ぶ

タイトルに番号がついていれば、番号ボタンでも選べます。

3 「**決定**」を押す

選んだタイトルのチャプター1から再生が始まります。

お知らせ

- この手順は基本的な操作手順です。ディスクによっては手順が異なりますので、操作手順が画面に表示されている場合は、その手順にしたがってください。
- トップメニューが記録されていないディスクでは、トップメニューは表示されません。
- ディスクの説明書によっては、トップメニューを表示するボタンを「TITLE(タイトル)」ボタンと呼んでいる場合があります。

■ スクリーンセーバー(焼付き防止機能)について

テレビなどに接続して使うときに、テレビの画面を保護するための機能です(焼付き防止を保証するものではありません)。

ディスクが入っていない状態や停止状態がおよそ20分程続くと、スクリーンセーバーが自動的に働きます(「スクリーン・セーバー」(「機能設定」章を参照)を「オン」に設定しているとき)。スクリーンセーバーを解除するときは、本体またはリモコンのボタンのどれかを押してください。

■ オートパワーオフ機能

停止状態やスクリーンセーバーが約20分間続くと、電源が切れます。

再度お使いのときは、一度電源スイッチを「切」にスライドさせてから、「入」にスライドし直してください。

■ 液晶画面について

· カラー液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯する画素や点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、少量に抑えるよう管理していますが、現在の最先端の技術でもなくすことは困難ですので、ご了承ください。

· 液晶画面は、見る角度によって微妙に明るさなどが変わります。きれいに見える角度に調節してご覧ください(なるべく画面に対して直角になる位置から見ることをおすすめします)。

再生の速さを変える

早戻し／早送りする

DVD-V　VCD　CD

再生中に、リモコンの「**早戻し**」「**早送り**」を押す

◀◀：早戻しの再生

▶▶：早送りの再生

押すたびに速さが切り換わります。

普通の再生に戻すには、「再生」を押します。

- 本体の「スキップ」を長押しすると、早戻し／早送りの再生になります。

お知らせ

- DVDディスクでの早戻し、早送り再生中は、音声と字幕（副映像）は再生されません。
- 早送り、早戻しの速さはディスクによって異なります。
- VRモードで記録されたディスクは、記録状態などによって、早戻し／早送りができない場合があります。

コマ送りで再生する

DVD-V　VCD　CD

一時停止中に、「**一時停止**」をくり返し押す

コマ送り再生中は、音声は再生されません。

普通の再生に戻すには、「再生」を押します。

スローモーションで再生する

DVD-V　VCD　CD

再生中に、「**シフト**」を押しながら「**スロー（早送り／早戻し）**」を押す

「スロー（早戻し）」ボタンを操作すると、戻し方向のスローモーションで再生します（DVDビデオディスク再生時）。

押すたびに、速さが切り換わります。

スローモーション再生中は、音声は再生されません。

普通の再生に戻すには、「再生」を押します。

お知らせ

- 速さの表示はおおよそです。再生するディスクによっても異なります。

見たいシーンを探す

DVD-V　VCD　CD

前後のチャプター／トラックへスキップする

1 「スキップ」をくり返し押して、再生したいチャプター／トラック番号を出す

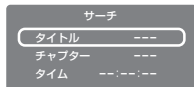
選んだチャプター／トラックから再生が始まります。

▶▶I：一つ先のチャプター／トラックの先頭から再生します。

I◀◀：現在のチャプター／トラックの先頭から再生します。
連続して2度押しすると、一つ前のチャプター／トラックの先頭から再生します。

番号を指定してシーンを探す

1 「T」を数回押して、画面に[サーチ]の表示を出す

押すたびに、表示が変わります。

2 方向ボタン（▲/▼）を押して、シーンを探す方法を選ぶ

- タイトル、チャプター、トラックで探したい場合は、[タイトル／チャプター]、[トラック]を選びます。
- 見たいシーンを、ディスクの経過時間を指定して探したい場合は、[タイム]を選びます。

CDの場合：
[タイム]　現在のトラックの経過時間を指定
[ディスクタイム]　ディスク全体の経過時間を指定

3 番号ボタンを押して、番号を入力する

- タイトル／チャプターの例：「25」を入力するには「2」→「5」の順に押します。

  DVDビデオディスクでは、[タイトル]と[チャプター]の入力位置を、方向ボタン（▲/▼）で切り換えられます。

- タイムサーチの例：1時間25分30秒の経過時間を入力する

  「1」→「2」→「5」→「3」→「0」

4 「再生」または「決定」を押す

指定した箇所から再生が始まります。

再生

お知らせ
- 番号を設定前に戻す場合は、「シフト」を押しながら「クリア」を押してください。
- タイトル番号の記録されていないディスクでは、タイトル番号を指定することはできません。
- ディスクやシーンによっては、経過時間を使ってシーンを探すことができないことがあります。

目印をつけて好きなシーンを再生する(ブックマーク機能)

下の「目印(ブックマーク)をつける」を行なって、あらかじめブックマークを登録してから操作してください。

1 再生中に、「T」を数回押して、[ブックマーク]の表示を出す

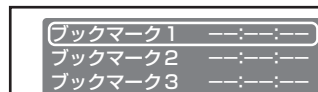
2 方向ボタン(▲/▼)を押して、[ブックマーク]の番号(1、2、3)を選び、「決定」を押す

選んだ箇所から再生が始まります。

■目印(ブックマーク)をつける

3箇所まで登録できます。

1 目印をつけたい箇所で、「**一時停止**」を押して、再生を一時停止させる

2 「**T**」を数回押して、[ブックマーク]の表示を出す

3 **方向ボタン**(▲/▼)を押して、[ブックマーク]の番号(1、2、3)を選ぶ

空いている番号([――:――:――])を選びます。

取り消すときは、「T」を押して表示を消します。

すでに登録済みの番号は、「シフト」を押しながら「クリア」を押すと、設定内容が消えて[――:――:――]の表示に変わります。

4 「**決定**」を押す

一時停止した箇所が、ブックマークとして登録されます。(ブックマークは、電源を切ったり、ディスクカバーをあけると消えます。)

お知らせ
- ディスクや場面によっては、ブックマークに登録できないことがあります。

順不同に再生する(ランダム再生)

DVD-V VCD CD

1 再生中に、「**シフト**」を押しながら「**ランダム**」を押して、画面に[ランダム]を表示させる

押すたびに、[ランダム オフ]と[ランダム]が切り換わります。

操作しないと、画面の表示は数秒で消えます。

[ランダム]を表示させると、現在再生しているチャプターやトラックの再生が終わってから、ランダム再生が始まります。

■ 普通の再生に戻すには

[ランダム オフ]が表示されるまで、くり返し「**シフト**」を押しながら「**ランダム**」を押す

お知らせ

- ディスクによっては、ランダム再生できないものがあります。
- 以下の場合は、ランダム再生は解除されます。
  －電源を切ったとき
  －ディスクカバーをあけたとき
- 「停止」を2回押すと、ランダム再生を解除して再生を終了します。

くり返し再生する(リピート再生)

DVD-V VCD CD

範囲を指定してくり返し再生する(A-Bリピート再生)

1 くり返し再生したい範囲の始点(A)で、「**A-B**」を押す

画面に[ABリピート__A]の表示が出ます。

2 くり返し再生したい範囲の終点(B)で、「**A-B**」を押す

自動的にA点に戻り、指定した範囲(AB間)のくり返し再生が始まります。

普通の再生に戻すには、「A-B」を押します。

[リピートオフ]の表示が出ます。

お知らせ

- 「停止」を2回押すと、A-Bリピート再生を解除して再生を終了します。
- 現在のタイトルまたはトラックの中だけで、A-Bの設定ができます。
- ディスクによって、くり返し再生したときの始点(A)の位置が変わることがあります。
- A-Bリピート再生中は、「停止」と「A-B」以外の操作はできない場合があります。

タイトル、チャプターまたはトラックをくり返す

1 再生中に、「シフト」を押しながら「リピート」をくり返し押して、モードを選ぶ

押すたびに、リピートモードが切り換わります。

操作しないと、画面の表示は数秒で消えます。

現在再生しているチャプターやトラックの再生が終わってから、リピート再生が始まります。

ディスク	リピートモード	くり返す対象
DVD-V	チャプターリピート	現在のチャプター
DVD-V	タイトルリピート	現在のタイトル
VCD CD	トラックリピート	現在のトラック
VCD CD	ディスクリピート	ディスク全体
DVD-V VCD CD	リピートオフ	普通の再生に戻ります。

お知らせ

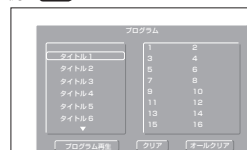
- ディスクによっては、リピート再生できないものがあります。
- 以下の場合は、リピート再生は解除されます。
  −電源を切ったとき
  −ディスクカバーをあけたとき
- 「停止」を２回押すと、リピート再生を解除して再生を終了します。

好きな順番で再生する(メモリー再生)

DVD-V VCD CD

1 停止中に、「シフト」を押しながら「メモリー」を押す

設定画面が表示されます。

例：DVD-V

ビデオCDは、トラック番号の入力になります。

2 再生したい順番にタイトルとチャプター／トラックを設定する

1) 設定するタイトル番号を**方向ボタン**(▲/▼)で選び、「**決定**」を押す

2) 設定するチャプター番号を**方向ボタン**(▲/▼)で選び、「**決定**」を押す
画面右側に設定したメモリー内容が表示されます。

3) 他のメモリーを設定する場合、[..]を選び、「**決定**」を押すとタイトル番号の選択画面に戻ります。
1)〜2)をくり返してメモリーの設定をしてください。

• ディスクによっては、チャプターやトラック番号が存在しないものもあります。そのときは、入力は受けつけられません。

3 方向ボタン(▶)を押して、[プログラム再生]を選び、「決定」を押す

設定した順にメモリー再生が始まります。

■ 設定内容を取り消すには

• 画面上で[クリア]を選び、「**決定**」を押すと、新しく設定したメモリーから取り消されます。

• 画面上で[オールクリア]を選び、「**決定**」を押すと、設定したすべてのメモリー内容が取り消されます。

■メモリー再生を中止するには

「**停止**」を2回押す

(メモリー内容は消去されます。)

お知らせ

• ディスクによっては、メモリー再生できないものがあります。
• 以下の場合は、メモリー再生は解除されます。
　−電源を切ったとき
　−ディスクカバーをあけたとき
• メモリー再生中に、メモリー再生の設定画面を表示させると、メモリー再生が一時停止します。

拡大する(ズーム再生)

DVD-V VCD CD

1 再生中に、「**ズーム**」を押す

ズームアイコンが表示されます。

スロー再生中、一時停止中、早送り中、早戻し中でも操作できます。

x2

2 ズームの倍率と位置を選ぶ

• **倍率:「ズーム」をくり返し押す**

[X2](2倍表示)

[X3](3倍表示)

[X4](4倍表示)

[オフ](ズーム再生終了)

の4通りで切り換わります。

• **位置:方向ボタン(▲/▼/◀/▶)を押す**

■ 普通の再生に戻すには

再生中に画面に[オフ]が表示されるまで、「**ズーム**」をくり返し押す

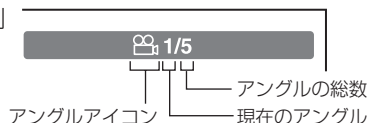
お知らせ

• ディスクによっては、ズーム再生できないものがあります。
• 場面によっては、ボタン操作が正しく働かないことがあります。
• 字幕やメニューの選択表示(マーク)などの副映像部分や画面表示部分は拡大されません。
• 電源を切ったり、ディスクカバーをあけると、ズーム再生は解除されます。

アングル（場面の角度）を切り換える

DVD-V VCD CD

1 マルチアングルで記録されている部分の再生中に、「**アングル**」を押す

画面にアングルアイコン［ ］が表示されます。

タイトルごとに表示されます。マルチアングル記録部分が含まれていないディスクでは表示しません。

マルチアングルで記録されていないディスクやシーンではアングルの切換えはできません。

2 「**アングル**」を押して、アングルを選ぶ

押すたびに、アングルが切り換わります。

お知らせ

- アングルを選んでから、実際に画像のアングルが切り換わるまでには、少し時間がかかります。
- アングルを選んだ直後に一時停止させたときは、画像のアングルが切り換わらないことがあります。

字幕の言語を切り換える

DVD-V VCD CD

1 再生中に、「**字幕**」を押す

現在の字幕設定が表示されます。

2 字幕設定の表示中に、「**字幕**」を押す

押すたびに、表示される字幕言語が切り換わります。

お知らせ

- 字幕が記録されていないディスクもあります。
- ディスクに記録されていない字幕言語を選んだときは、ディスクで決められている言語で再生します。
- 再生している場面によっては、字幕言語を切り換えても、すぐには切り換えた言語の字幕が表示されないことがあります。

■ 字幕の表示と非表示を切り換えるには

再生中に、画面に［オフ］が表示されるまで、「**字幕**」をくり返し押す

お知らせ

- ディスクによっては、字幕が自動的に表示されるように設定されているものがあります。また、字幕機能をオフに設定しても、非表示にできない場合があります。
- ディスクによっては、字幕の言語や表示、非表示の切換えをディスクメニューを使って選ぶ場合があります。

音声を切り換える

DVD-V　VCD　CD

1 再生中に、「**音声**」を押す

現在の音声設定が表示されます。

2 音声設定の表示中に、「**音声**」を押す

押すたびに、ディスクに記録されている音声が切り換わります。

- 複数の音声が記録されていないディスクもあります。そのときは、音声の切換えはできません。

■ ビデオCDの音声チャンネルを切り換えるには

再生中に、「**音声**」を押して、音声チャンネルを選ぶ

お知らせ

- ディスクによっては、音声の切換えをディスクメニューを使って行なう場合があります。このときは、「メニュー」を押してディスクメニューを表示させてから音声を選んでください。
- ディスクに記録されていない音声を選んだときは、ディスクで決められている音声を再生します。

音楽／動画・画像ファイルを再生する

DVD-V　VCD　**CD**

音楽用CD、音声ファイル(MP3/WMA)、動画ファイル(Divx®)、画像ファイル(JPEG)の再生ができます。

■MP3/WMAまたはDivx®ファイルの再生対応条件

<table>
<tr><td>対応メディア</td><td>CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R</td></tr>
<tr><td>サンプリング周波数</td><td>32 kHz、44.1 kHz、48 kHz</td></tr>
<tr><td>ビットレート</td><td>WMA：48 kbps ～192 kbps(CBR)
MP3：32 kbps ～ 320kbps(CBR)
Divx：8 Mbps以下</td></tr>
<tr><td>フォーマット</td><td>MODE 1</td></tr>
<tr><td>MP3ファイルシステム</td><td>ISO9660レベル、UDF without interleave</td></tr>
<tr><td>DivXファイルシステム</td><td>ISO14496</td></tr>
<tr><td>ファイル名(MP3)</td><td>8文字以下で、拡張子「MP3」が付け加えられていること。(例「○○○○○○○○.MP3」)
“?!><+*}|{`[@]:;¥ /.,” など、特殊な文字が使われていないこと。50バイト以下。</td></tr>
<tr><td>ファイル名(WMA)</td><td>8文字以下で、拡張子「WMA」が付け加えられていること。(例「○○○○○○○○.WMA」)
“?!><+*}|{`[@]:;¥ /.,” など、特殊な文字が使われていないこと。50バイト以下。</td></tr>
<tr><td>ファイル名(Divx)</td><td>8文字以下で、拡張子「avi」または「divx」が付け加えられていること。(例「○○○○○○○○.avi」、「○○○○○○○○.divx」)
“?!><+*}|{`[@]:;¥ /.,” など、特殊な文字が使われていないこと。50バイト以下。</td></tr>
<tr><td>ファイルの総数</td><td>650以下</td></tr>
<tr><td>WMAコーデック方式版</td><td>V2、V7、V8、V9(ステレオサウンドのみ)</td></tr>
<tr><td>Divxコーデック方式版</td><td>3、4、5、6(再生できるDivx®ファイル(Ver.6含む))通常再生にのみ対応しています。</td></tr>
<tr><td>Divx解像度</td><td>720×576(同等もしくはそれ以下)</td></tr>
</table>

■JPEGファイルの再生対応条件

<table>
<tr><td>対応メディア</td><td>CD-ROM、CD-R、CD-RW</td></tr>
<tr><td>ファイルシステム</td><td>ISO9660、UDF without interleave</td></tr>
<tr><td>ファイル名</td><td>8文字以下で、拡張子「JPG」が付け加えられていること。(例「○○○○○○○○.JPG」)
“?!><+*}|{`[@]:;¥ /.,” など、特殊な文字が使われていないこと。英数字のみで構成されていること。</td></tr>
<tr><td>ファイルの総数</td><td>650以下</td></tr>
<tr><td>ファイルサイズ</td><td>10Mバイト以下</td></tr>
<tr><td>フォーマット</td><td>BASELINE、PROGRESSIVE</td></tr>
<tr><td>解像度</td><td>Baseline JPEG：最大5760×4320
Progressive JPEG：最大5760×4320</td></tr>
</table>

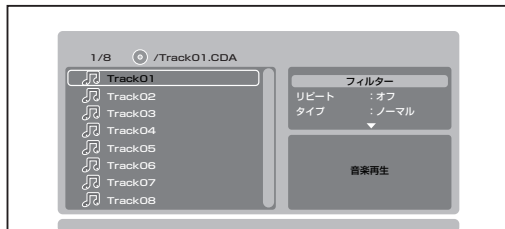
お知らせ

- 対応または動作確認済みのディスクでも、状態などによっては動作しない場合があります。

再生

1 再生したいディスクを入れる

メニューが表示されます。

例

2 再生したいトラック／ファイルを**方向ボタン**（▲/▼）で選び、「**決定**」または「**再生**」を押す

再生が始まります。

JPEGファイルの場合は、1画像ずつ順に再生（スライドショー）します。

3 再生を止めるには「**停止**」を押す

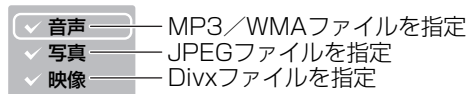
■再生するファイルの種類を選択する

例えば、1枚のディスクの中に数種類のファイルが記録されているとき、以下の手順で再生するファイルの種類を指定します。

1 **方向ボタン**で［フィルター］を選び、「**決定**」を押す

以下の画面が表示されます。

例

✓ 音声	MP3／WMAファイルを指定
✓ 写真	JPEGファイルを指定
✓ 映像	Divxファイルを指定

2 再生するファイルの種類を**方向ボタン**で選び、「**決定**」を押す

選ばれたファイルの種類にはチェックマーク［✓］が入ります。

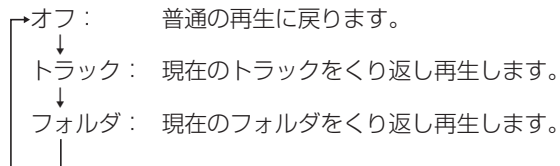
お知らせ

- 市販の音楽用CDのときは、ファイルの指定はできません。

■ リピート再生をする

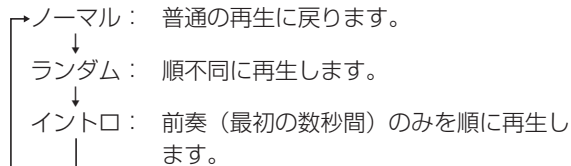
再生中に**方向ボタン**で画面の[リピート] を選び、「**決定**」を押す

「**決定**」を押すたびに、リピートモードが切り換わります。

オフ： 普通の再生に戻ります。
↓
トラック： 現在のトラックをくり返し再生します。
↓
フォルダ： 現在のフォルダをくり返し再生します。

■ ランダム／イントロ再生をする

再生中に**方向ボタン**で [タイプ] を選び、「**決定**」を押す

「**決定**」を押すたびに、タイプが切り換わります。

ノーマル： 普通の再生に戻ります。
↓
ランダム： 順不同に再生します。
↓
イントロ： 前奏（最初の数秒間）のみを順に再生します。

お知らせ

- ディスクによっては再生できないものがあります。
- スキップなど、一部リモコンで操作できる機能もあります。

音声ファイルの再生についてのお知らせ

- 著作権保護されているWMA トラックは、再生できません。
- ビットストリーム/PCM 音声出力端子からのMP3/WMA ファイルの音声は、「音声出力」（「機能設定」章を参照）の設定に関係なく、リニアPCM 音声で出力されます。

■好きな順番で再生する(プログラム再生)

再生したいトラック／ファイルを並びかえて、好きな順番で再生できます。

1 **方向ボタン**で［編集モード］を選び、「**決定**」を押す

2 **方向ボタン**（◀）でトラック／ファイルが表示されている画面へカーソルを移動させる

3 **方向ボタン**（▲/▼）でプログラム再生したいトラック／ファイルを選び、「**決定**」を押す

選んだトラック／ファイルにチェックマーク［✓］が入ります。

4 **方向ボタン**で［プログラム入力］を選び、「**決定**」を押す

選んだトラック／ファイルが本体に記憶されます。

5 **方向ボタン**で［プログラム表示］を選ぶ

プログラムされた内容が表示されます。

6 「**再生**」を押す

プログラムした順に再生が始まります。

■トラック／ファイルを表示する

画面の［ファイル表示］を選び、「**決定**」を押すと、記録されているトラック／ファイルが表示されます。

■プログラムした内容を取り消すには

1 「**停止**」を２回押して、再生を停止させる

2 **方向ボタン**（◀）でトラック／ファイルが表示されている画面へカーソルを移動させる

3 取り消したいトラック／ファイルを選び、「**決定**」を押す

選んだファイルにチェックマーク［✓］が入ります。

4 **方向ボタン**で［クリア］を選び、「**決定**」を押す

プログラムした内容が解除されます。

お知らせ
- ディスクによっては機能しないものがあります。

広がりのある音にする

DVD-V VCD CD

1 「音場効果」を押す

現在の設定が表示されます。

2 「音場効果」をくり返し押す

- [3D オフ]
  通常の音声です。
- [3D オン]
  クレードルのスピーカー、ヘッドホーンや、2本のスピーカーに外部出力した場合でも、広がりと奥行き感のある音場効果が得られます。

お知らせ

- 実際の音場効果は、音響設備によって異なります。
- 実際の音場効果は、ディスクによって異なります。

液晶画面の映りを調整する

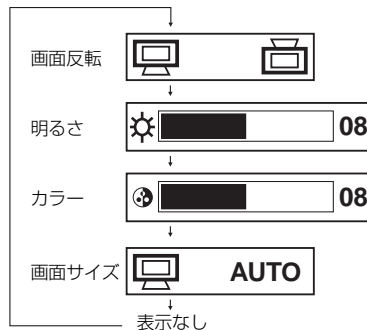
DVD-V VCD CD

本機の液晶画面が対象です。テレビなど外部機器につないで見る映像には効果はありません。

1 「映像調整」を押す

現在の設定が表示されます。

2 「映像調整」をくり返し押して、項目を選ぶ

押すたびに、設定項目が以下のように切り換わります。

項目と設定内容は、右の表をご覧ください。

操作しないと、設定画面の表示は数秒で消えます。

再生

3 方向ボタン（◀/▶）を押して、設定を変える

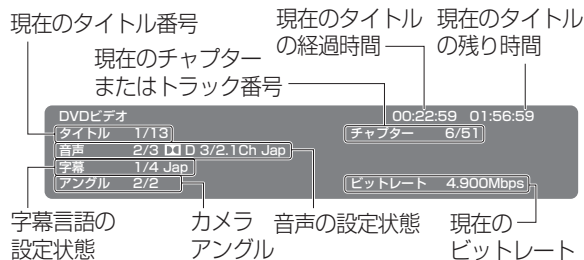
画面反転	画面の上下反転を設定します。
明るさ	0（暗い）〜16（明るい）
カラー	0（薄い）〜16（濃い）
画面サイズ	4：3　：記録された映像を4：3の画面サイズで表示します。 16：9 ：4：3の形状で記録された映像を、16：9の画面サイズで表示します。 AUTO ：DVDビデオディスクの映像を、記録されたとおりの形状（4：3または16：9）で表示します。

操作状況や情報を表示させる

DVD-V　VCD　CD

1 再生中に、「**表示**」を押す

現在の操作状況や情報が表示されます。

例：DVDビデオディスク

画面表示を消すには「**表示**」を押します。

再生

テレビを見る

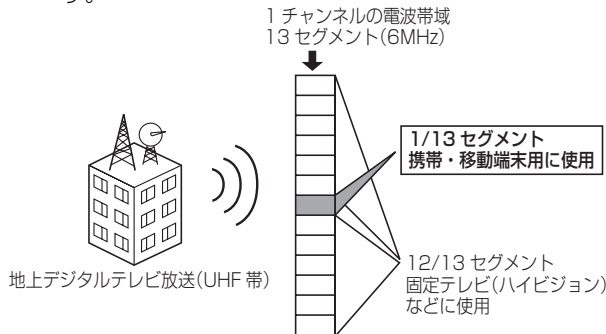
本機でワンセグ放送の視聴ができます。

- **本機でご覧になれるテレビ放送**
- **ワンセグ放送を見る**

本機でご覧になれるテレビ放送

本機では、ワンセグ放送を視聴することができます。（地上アナログ放送、地上デジタル放送（ハイビジョン画質）は受信できません。）

ワンセグとは

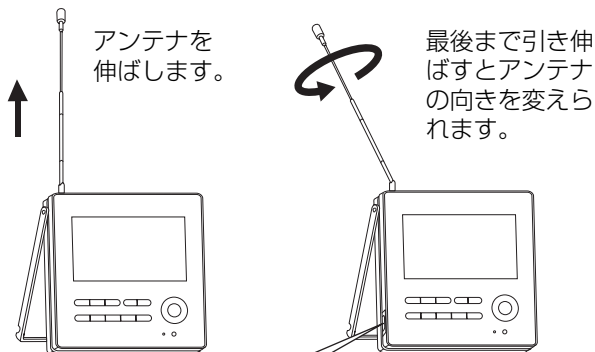
ワンセグは、携帯機器向け地上デジタルテレビ放送です。1チャンネル（6MHz）の帯域を13セグメントに分割し、そのうちの1セグメントを携帯機器向けに利用していることからワンセグと呼ばれています。

ワンセグ放送の主な特徴

	ワンセグ放送
受信状態	地上アナログ放送よりも安定して電波を受信できます。
画質	携帯機器用の放送のため、多少画質が粗くなったりします。
受信地域	放送が開始されたばかりの時は、受信できる地域が限られます。

- 地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも2006年末までに放送が開始されました。
  ワンセグは、2006年4月に開始され、地上デジタルテレビの放送地域拡大により順次受信可能なエリアが拡大される予定です。ただし、放送局によってはワンセグが放送されない場合があります。
  尚、地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが国の方針として決定されています。
- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。
- 放送波で放送されるワンセグの映像・音声・データ放送の受信はお申し込みが不要な無料のサービスです。
- 「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
  社団法人地上デジタル放送推進協会　http://www.d-pa.org/

ワンセグ放送を見るときには

ワンセグ放送を視聴するときは、アンテナを使用してください。

■内蔵アンテナを使う場合

「**アンテナ**」切換えスイッチを「**内蔵アンテナ**」側にします。

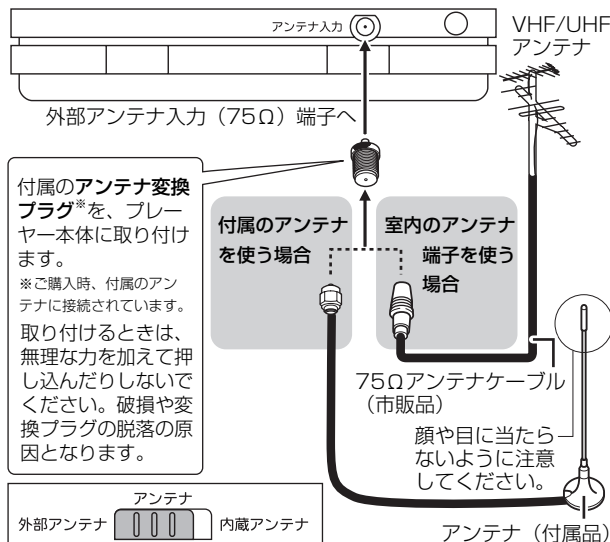
※スイッチの切換えは、クレードルからはずして行なってください。

内蔵アンテナでの受信状態が悪い場合は、付属のアンテナを使ってみてください。
受信状態が良くなる場合もあります。

■アンテナ端子を使う場合

付属の**アンテナ変換プラグ**※を、プレーヤー本体に取り付けます。

※ご購入時、付属のアンテナに接続されています。

取り付けるときは、無理な力を加えて押し込んだりしないでください。破損や変換プラグの脱落の原因となります。

「**アンテナ**」切換えスイッチを「**外部アンテナ**」側にします。

※スイッチの切換えは、クレードルからはずして行なってください。

ご注意

- 本機以外のポータブルDVDプレーヤーなどに接続しないでください。故障の原因となります。

ワンセグ放送を見る

チャンネル設定をする(オートプリセット)

ワンセグ放送の受信可能なチャンネルを自動的に設定して記憶させせます。

本機は、チャンネル設定をしていない状態で出荷されています。はじめてワンセグ放送をご覧になるときは、必ずこのページの手順でチャンネル設定(オートプリセット)を行なってください。

1 「入出力切換」をくり返し押して[(テレビ)]を選ぶ

- はじめて[テレビ]を選んだとき、「チャンネル設定をしてください」というメッセージが、本体の画面に表示されます。手順2に進んでください。

2 「セットアップ」を押す

以下の画面が表示されます。

チャンネル設定をしますか?

1:はい　　0:いいえ＊

3 方向ボタン(◀)を押して、「1:はい」を選ぶ

受信できるチャンネルを自動的に探して記憶します。

お知らせ

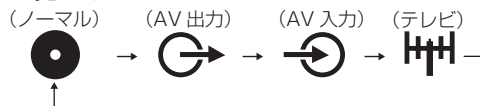
- オートプリセット時の地域コード等の入力は必要ありません。
- オートプリセットを行なうと、設定済みのチャンネルはすべて消えます。
- 電波が弱いと、受信できない場合があります。
- オートプリセットを行なう場所によっては、複数の放送局が1つのチャンネルで受信できる場合があります。たとえば、NHK大阪とNHK神戸の両方を受信できる大阪府と兵庫県の県境などの地域では、NHK大阪とNHK神戸の両方を受信して、それぞれを「1－1」、「1－2」というように、チャンネルを枝番で表示します。

■ 設定したチャンネルを工場出荷状態にもどすには

「**シフト**」を押しながら「**クリア**」を押したあと、「**決定**」を押すと、記憶したチャンネルを全て消去します。

テレビを見る

- 内蔵アンテナおよび付属のアンテナを使うときは、方向を変えて、受信状態が良くなるように調整してください。（電波の弱い地域や移動しているときなどは、受信状態が不安定になります。）

1 **「入出力切換」をくり返し押して［(テレビ)］を選ぶ**

2 **方向ボタン（▲/▼）で選局する**

● **オートプリセットされている場合**

設定されたチャンネルを**方向ボタン**（▲/▼）で切り換えます。
※本体の**方向ボタン**（▲/▼）でも選局できます。番号ボタンでもできます。見たいチャンネルの番号を押してください。

- 複数の放送局が１つのチャンネルにプリセットされていて、そのうちのどれかを選ぶときは、そのチャンネルの番号のボタンを、間隔をあけてくり返し押します。

（例：「3－2」を選ぶ：番号ボタン3を押す→（3－1の放送が映る）（「3－1」）→もう一度番号ボタン3を押す（「3－2」））
間隔をあけずに続けて押すと、二けたの数字の入力とみなされ、上の例では33チャンネルが選局されます。

● **手動でチャンネルサーチする場合**

例えば、お住まいの地域から離れたところで、一時的にその地域で受信できるチャンネルを探します。
「**シフト**」を押しながら**方向ボタン**（▲）または（▼）を押すと、受信できるチャンネルをサーチします。（チャンネルサーチ）

「シフト」＋（▲）　順方向
「シフト」＋（▼）　逆方向

チャンネルが見つかるとサーチを終了します。ちがうチャンネルを見たいときは、もう一度ボタンを約１秒押し続けると、受信できるチャンネルをサーチします。

- ここでサーチしたチャンネルは記憶されません。

お知らせ
- 地上デジタル放送の双方向サービスは利用できません。
- 選局後、映像と音声の出力までに数秒かかります。

■ 番組表と番組内容を表示する

1 番組視聴中に本体の「メニュー／番組表」を押す

チャンネルリストが表示されます。

例

方向ボタン（▲/▼）でチャンネルを選び、「決定」を押すと、選局できます。

2 方向ボタン（▲/▼）でチャンネルを選び、方向ボタン（▶）を押す

選んだチャンネルの番組表が表示されます。

3 方向ボタン（▲/▼）で番組を選び、方向ボタン（▶）を押す

番組内容が表示されます。

お知らせ

- 番組表または番組内容表示中に「メニュー／番組表」を押すと、視聴していた番組に戻ります。
- 方向ボタン（◀）を押すと、前画面に戻ります。
- 番組に関するデータが取得されていない場合は番組表や番組内容を表示できません。

■ 音声を切り換える

「**音声**」を押す

現在の音声設定が本体の画面に表示されます。
押すたびに音声が切り換わります。

- ステレオの場合
  通常の放送はステレオで放送されています。ステレオとモノラル音声の切換えはありません。

  画面表示

  主音１（ステレオ）→ 副音１（ステレオ）→ 主音１／副音１（ステレオ）→ 消音 →（主音１に戻る）

- 二カ国語放送の場合

  画面表示

  主音１ → 副音１ → 主音１／副音１ → 消音 →（主音１に戻る）

- マルチ放送の場合

  画面表示

  主音１ → 副音１ → 主音１／副音１ →
  主音２ → 副音２ → 主音２／副音２ → 消音 →（主音１に戻る）

■ 字幕を表示する

「**字幕**」を押す

押すたびに字幕が切り換わります。

現在の字幕情報 → 字幕 1 → 字幕 2 → 字幕 OFF
（字幕 OFF → 現在の字幕情報 に戻る）

放送によって字幕の内容が異なり、字幕放送がされていない番組もあります。

■ 現在選ばれているチャンネルを確認する

「**表示**」を押す

現在選ばれているチャンネルの番号が本体の画面に表示されます。

ワンセグ放送受信時に表示される文字（字幕や番組表など）は、株式会社リコーがデザイン制作したリコー Jet フォントを使用しています。

機能設定

お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

● 初期設定の変更と機能の設定

初期設定の変更と機能の設定

DVD-V VCD CD

本機では、さまざまな機能があらかじめ初期設定されています。お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

1 **停止中に、「セットアップ」を押す**

機能設定画面が表示されます。

2 **設定項目（下表）のアイコンを、方向ボタン（▲/▼）で選び、方向ボタン（▶）を押す**

3 **設定項目を、方向ボタン（▲/▼）で選び、「決定」を押す**

4 **（64ページ）以降の説明を参照して、項目の内容を、方向ボタン（▲/▼）などで設定し、「決定」を押す**

他の項目を設定するときは、方向ボタン（◀）を押してから、手順２～４をくり返します。

5 **「セットアップ」を押す**

設定画面が消え、設定は終わりです。

アイコン	設定項目	対応ディスク	設定内容
言語設定	画面表示言語	DVD-V VCD CD	画面表示に使う言語を選びます。
	字幕言語	DVD-V	各国語で記録されている字幕のうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。
	音声言語	DVD-V	各国語で記録されている音声のうち、どの言語を優先して再生するかを設定します。
	ディスクメニュー言語	DVD-V	各国語で記録されているディスクメニューを、どの言語を優先して表示するかを設定します。

機能設定

映像	TV画面形状	**DVD-V** **VCD** CD	本機の映像をテレビに接続してご覧になるとき、出力信号の画面形状を、テレビの形状に合わせて設定します。
	映像モード	**DVD-V** **VCD** CD	表示される映像のサイズをお好みで設定します。
音声	E.A.M	**DVD-V** **VCD** **CD**	音場効果を選びます。（E.A.M = Enhanced Audio Mode）
	D.R.C	**DVD-V** VCD CD	夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能を設定します。（D.R.C = Dynamic Range Control）
	音声出力	**DVD-V** **VCD** **CD**	接続のしかたに合わせて、どの音声方式を出力するかを設定します。
レベル設定	パレンタルロック	**DVD-V** VCD CD	パレンタルロック機能の内容や入/切を設定します。
	PBC	DVD-V **VCD** CD	ビデオCD（PBC付き）のメニュー画面で再生をするかどうかを設定します。
	スクリーン・セーバー	**DVD-V** VCD CD	スクリーン・セーバー（焼付き防止機能）を働かせるかどうかを設定します。
出荷時設定	出荷時設定	—	すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。
	Divxレジストレーション	—	Divxに関するお知らせが表示されます。

■ 言語設定

画面表示言語 DVD-V VCD CD

日本語：
日本語で画面表示します。
English：
英語で画面表示します。

字幕言語 DVD-V VCD CD

日本語：
日本語で字幕を表示します。
英語：
英語で字幕を表示します。
オフ：
字幕を表示しません。

お知らせ
- ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語はディスクメニューを使って選ぶようになっている場合があります。このときは、「メニュー」を押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選んでください。

音声言語 DVD-V VCD CD

日本語：
日本語で音声を再生します。
英語：
英語で音声を再生します。

お知らせ
- ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。

ディスクメニュー言語 DVD-V VCD CD

日本語：
日本語でディスクメニューを表示します。
英語：
英語でディスクメニューを表示します。

お知らせ
- ディスクによっては、設定した言語のディスクメニューが記録されていないことがあります。この場合、ディスクメニューはディスクで初期設定されている言語で表示されます。

■ 映像

TV画面形状 DVD-V VCD

4:3：

従来の4:3テレビを本機に接続しているとき。

16:9：

16:9ワイドテレビを本機に接続しているとき。

お知らせ

- DVDビデオディスクには、再生できる画面形状があらかじめ設定されています。ディスクによっては、この設定の画面形状どおりに再生されないことがあります。
- 4:3の画面形状だけで記録されたDVDビデオディスクは、この設定にかかわらず4:3の画面形状で再生されます。
- 4:3のテレビを本機に接続した状態で「16:9ワイド」を選ぶと、ワイド映像が上下に伸びて表示されます。お使いのテレビに合わせて設定してください。

映像モード DVD-V CD

フルサイズ：

画像はカットされず、上下左右を伸ばしてフル画面で表示します。

オリジナル：

ディスクに記録されているもとの画像サイズで表示します。

自動：

自動的に縦横比を合わせて表示します。上下左右に黒い帯ができます。

ワイド：

画像の上下または左右をカットして、フル画面で表示します。

お知らせ

- この設定の内容は、ディスクの記録の状態や接続しているテレビによっても異なる場合がありますので、お好みに合わせて設定してください。

■ 音声

E.A.M. DVD-V VCD CD

ノーマル：
普通の音声です。
3D：
本機のスピーカーや、２本のスピーカーに外部出力した場合でも、広がりと奥行き感のある音場効果になります。

お知らせ
- リモコンの「音場効果」を押しても、同じ設定ができます。

D.R.C. DVD-V VCD CD

オン：
ダイナミックレンジ機能が働きます。
オフ：
ダイナミックレンジ機能が働きません。

お知らせ
- ドルビーデジタルで記録されたディスクのときだけ、この機能が働きます。
- この機能の効果レベルは、ディスクによって変わることがあります。

音声出力 DVD-V VCD CD

ビットストリーム：
ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2の各デコーダーを内蔵したアンプを本機に接続しているとき。

ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2で記録されたDVDビデオディスクを再生すると、それぞれのビットストリーム音声を出力します。

アナログ2ch：
AV出力端子で、テレビなどに接続しているとき。

PCM：
2chデジタルステレオアンプを本機に接続しているとき。

ドルビーデジタル、MPEG1、MPEG2で記録されたDVDビデオディスクを再生すると、PCM（2ch）に音声を変換して出力します。

パレンタルロック DVD-V VCD CD

パレンタルロックに対応したDVDビデオディスクには、あらかじめ規制レベルが設定されています。規制レベルの内容および規制方法はディスクによって異なります。たとえばディスク全体が再生できない場合のほか、過激な暴力シーンをカットしたり、別のシーンに自動的に差し換えて再生されます。ディスクによっては、パレンタルロックに対応しているかどうかの区別がつきにくいものがあります。必ず、設定したパレンタルロックの機能が働くことを確認してください。

■パレンタルロックの規制レベルを設定する

1 **方向ボタン**で[パレンタルロック]を選び、「**決定**」を押す

パスワード画面が表示されます。

2 **番号ボタン**を押して、任意の5桁の暗証番号を入力し、「**決定**」を押す

パスワードが設定されます。

3 **方向ボタン**(▲/▼)で[パレンタルロック]を選び、設定したパスワードを入力し、「**決定**」を押す

4 [パレンタルロック]を選んだまま「**決定**」を押す

5 **方向ボタン**(▲/▼)でパレンタルロックの規制レベルを選び「**決定**」を押す

パレンタルロックの規制レベルが設定されます。

選んだ規制レベルより上のレベルのディスクは、パレンタルロックの設定レベルを再生できるレベルに変更するか、機能を解除しないかぎり、再生できなくなります。たとえば、レベル7を設定すると、レベル8以上は、ロックされ再生できなくなります。

アメリカの規制レベルは、次のように対応しています。

8 : Adult	7 : NC-17	6 : R
5 : PG-R	4 : PG-13	3 : PG
2 : G	1 : Kid Safe	

レベルは、将来のために用意されたものです。適切な設定レベルは、実際にパレンタルロックに対応したDVDビデオディスクをお買い上げになられたときに、お客様ご自身で動作させてご確認ください。

■パレンタルロックの規制レベルを変えるには

1 **方向ボタン**（▲/▼）を押して、[パスワード] を選ぶ

2 **番号ボタン**を押して、設定した５桁の暗証番号を入力したあと、決定ボタンを押す

「パレンタルロックの規制レベルを設定する」の手順を行ない、規制レベルを変更してください。

■暗証番号を変えるには

1 [パスワード] を選んだあとで、**番号ボタン**「**9**」を５回押し、「**決定**」を押す

暗証番号が解除されます。

2 **番号ボタン**で新しい５桁の暗証番号を入力する

PBC　DVD-V　VCD　CD

オン：
ビデオCD（PBC付き）のメニュー画面を使って再生するとき。

オフ：
ビデオCD（PBC付き）のメニュー画面を使わず、普通の再生をするとき。

スクリーン・セーバー　DVD-V　VCD　CD

オン：
スクリーン・セーバーが働きます。

オフ：
スクリーン・セーバーは働きません。

■ 出荷時設定

出荷時設定

いいえ：
現在の設定のままで選択を終了します。

はい：
設定を出荷時の状態に戻します。

Divxレジストレーション

Divxに関するお知らせが表示されます。
表示中に「決定」を押すと、「出荷時設定」の画面に戻ります。

接続

他の機器をつなぐことで、映像や音声がさらに楽しめます。

● **テレビの画面で見る**

● **他の機器の映像を本機の液晶画面で見る**

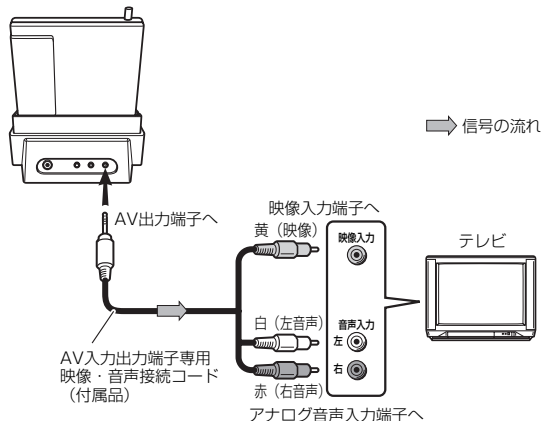
● **オーディオ機器で音声を楽しむ**

テレビの画面で見る

本機をテレビにつないで、本機の再生画像をテレビの画面で見られます。

1 テレビを本機のAV出力端子につなぐ

・クレードルを通さずに、本体のAV入力／出力端子とテレビを直接接続することもできます。

接続後は、設定をしてください。	設定する項目	選ぶ内容	ページ
	「音声出力」	「アナログ2ch」	66

2 「**入出力切換**」をくり返し押して、本機の液晶画面に［(AV出力)］を表示させる

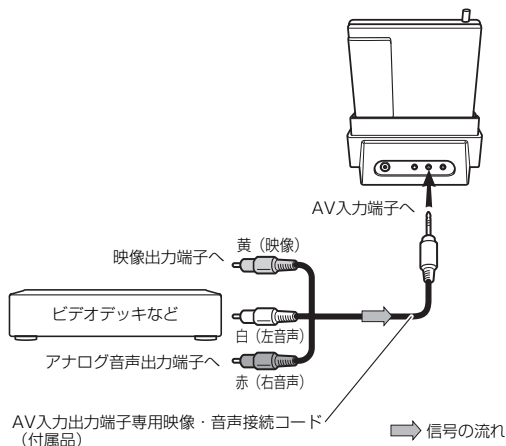
本機の映像を外部機器の画面で表示する状態（外部出力モード）になります。
このモードでは、本機の液晶画面には画像は出なくなります。

お知らせ

- 接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。
- 接続するときは、必ず本体およびテレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機とテレビは、直接接続してください。たとえば、本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止の働きによって正常な画像にならないことがあります。

他の機器の映像を本機の液晶画面で見る

ビデオデッキ、ビデオレコーダーなどの映像を、本機の液晶画面で見ることができます。

1 映像機器を、本機のAV入力端子につなぐ

・クレードルを通さずに、本体のAV入力／出力端子と映像機器を直接接続することもできます。

2 「入出力切換」をくり返し押して、本機の液晶画面に[⊕(AV入力)]を表示させる

つないだ機器の映像を液晶画面で表示する状態（外部入力モード）になります。

お知らせ

- 接続したビデオデッキやゲーム機などから規格外の信号が入力されると、正しい映像にならないことがあります。例えば、画面の標的を撃つシューティングゲームは、液晶画面の色表示の特性上、使用できない場合があります。
- 外部機器から入力している間（[⊕(AV入力)]の表示中）は、スクリーンセーバー機能とオートパワーオフ機能は働きません。

接続

オーディオ機器で音声を楽しむ

お手持ちのオーディオシステムと接続して、迫力ある音響効果を楽しめます。

接続する機器が、デジタル音声入力対応かアナログ音声入力かで、使う端子が異なります。

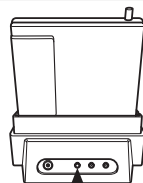
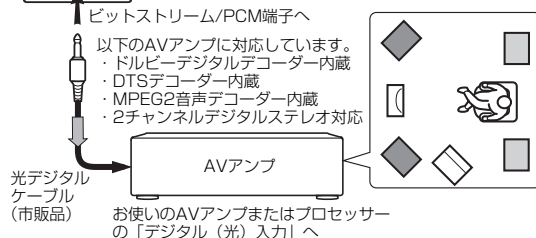
接続する機器の入力が、デジタルかアナログかを確かめて、接続方法を選んでください。

お願い

- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。
- 本機の電源プラグやACアダプターを抜き差しするときは、必ずステレオアンプの電源スイッチを切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷めるおそれがあります。
- 本機からの音声出力は、広いダイナミックレンジがあります。突然の大音量によりスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調節してください。

お知らせ

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- チューナーやラジオの近くに本機を置くと、AM放送に雑音がはいることがあります。このような場合は、チューナーやラジオとの距離を離してください。

AVアンプ（デジタル音声入力端子つき）とつなぐ

- クレードル使用時だけ、以下の接続ができます。

	設定する項目	選ぶ内容	ページ
接続後は、設定をしてください。	「音声出力」	「ビットストリーム」または「PCM」	66

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

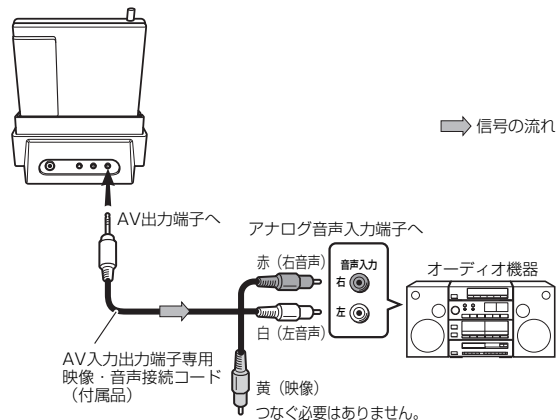
DTSおよびDTS Digital OutはDigital Theater Systems, Inc.の商標です。

⚠注意

- クレードルのビットストリーム/PCMデジタル音声出力端子に、ドルビーデジタル、DTSまたはMPEG2のデコード機能を搭載していないAVデコード製品を接続してお使いになるときは、「音声出力」（66ページ）を必ず「PCM」に設定してください。大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。
- DTS対応のディスク（音楽用CD）を再生すると、音声出力端子から過度のノイズが出力されることがあります。オーディオ機器を本機の音声出力端子に接続している場合は、スピーカーなどを破損することのないよう十分ご注意ください。DTSデジタルサラウンド音声をお楽しみになるときは、必ずクレードルのビットストリーム/PCMデジタル音声出力端子にDTSデジタルサラウンドデコーダーを接続してください。

お知らせ

- クレードルのビットストリーム/PCM音声出力端子は、ドルビーデジタルレシーバーのAC－3RF入力へ接続しないでください。この入力端子は、レーザーディスク専用で、クレードルのビットストリーム/PCM音声出力端子とは互換性がありません。

アナログ音声入力端子つきオーディオ機器とつなぐ

- 「入出力切換」をくり返し押して、本機の液晶画面に［⊖（AV出力）］を表示させます。
- クレードルを通さずに、本体のAV入力／出力端子と映像機器を直接接続することもできます。

接続後は、設定をしてください。	設定する項目	選ぶ内容	ページ
	「音声出力」	「アナログ2ch」	66

接続

その他

お使いになるうえで役立つ情報です。

● 出力される音声の種類

● 故障かな？…と思ったときは

● 仕様

出力される音声の種類

ディスク	音声方式		「音声出力」の設定と出力音声					
			「ビットストリーム」		「アナログ2ch」		「PCM」	
			ビットストリーム/PCM音声出力端子	スピーカーヘッドホーン端子AV出力端子	ビットストリーム/PCM音声出力端子	スピーカーヘッドホーン端子AV出力端子	ビットストリーム/PCM音声出力端子	スピーカーヘッドホーン端子AV出力端子
DVDビデオディスク	ドルビーデジタル		ビットストリーム	○	ビットストリーム	○	PCM	○
	リニアPCM	48 kHz	PCM	○	×	○	PCM	○
		96 kHz	PCM*	○	×	○	PCM*	○
	DTS		ビットストリーム	×	ビットストリーム	×	ビットストリーム	×
	MPEG1、MPEG2		ビットストリーム	○	ビットストリーム	○	PCM	○
ビデオCD	MPEG1		ビットストリーム	○	ビットストリーム	○	PCM	○
音楽用CD	リニアPCM 44.1 kHz/16 bit		PCM	○	PCM	○	PCM	○
	DTS		ビットストリーム	×	ビットストリーム	×	ビットストリーム	×

PCM*: ダウンサンプリングPCM

- ビットストリーム/PCM音声出力端子から出力される88.2kHz以上の信号は、以下の場合にはダウンサンプリングされた信号(44.1kHzまたは48kHz)になります。
  －音場効果を「3D オン」に設定したとき。
  －著作権保護処理されたディスクのとき。
- 著作権保護されたディスクの場合、信号は16bitになります。

故障かな…？と思ったときは

アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

症状	原因	処置
電源がはいらない。	• ACアダプターまたは電源プラグが抜けている。	• ACアダプターまたは電源プラグをしっかりと差し込む。
	• バッテリーパックがはずれている。	• バッテリーパックを取り付ける。
	• バッテリーパックが充電されていない。	• バッテリーパックを充電する。
液晶画面が自動的に消えた。	• オートパワーオフ機能が働いた。	• 電源を入れ直す。
画像が出ない。	• 本機の入力の切換を「AV出力」に設定している。	• 入出力切換ボタンを押して、本機の液晶画面に画像が出るようにする。
画像が出ない。（本機の液晶画面以外で）	• 接続しているテレビの入力切換が正しくない。	• テレビの入力切換を、本機からの画像が映るように切り換える。
映像や音声が出ない。（テレビチューナーを使う場合）	• 正しくアンテナを接続できていない。	• 正しくアンテナを接続する。
	• アンテナ切換えスイッチを、使用しているアンテナに合わせて切り換えていない。	• アンテナ切換えスイッチを確認し、正しく切り換える。
	• オートプリセットしていない。	• オートプリセットして、受信可能なチャンネルを設定する。
音声が出ない。	• 音声接続コードでつないでいる機器の入力切換が正しくない。	• 音声接続コードをつないでいる機器の入力切換を、本機からの音声が入力されるように切り換える。
	• ボリュームが小さすぎる。	• 音量ダイヤルで調節する。
	• 音声接続コードでつないでいる機器の電源がはいっていない。	• 音声接続コードでつないでいる機器の電源を入れる。
	• 音声出力が正しく設定されていない。	• 音声出力を正しく設定する。
ディスク再生中、画像や音声が乱れることがある。	• ディスクがよごれている。	• ディスクを取り出し、きれいにする。
	• 早送り、早戻しをした。	• 画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません。
	• 再生中に衝撃を与えた、または移動した。	• 画像や音声が乱れることがありますが、故障ではありません。正常な画像や音声に戻らないときは、一度停止させたあと、もう一度再生してください。
	• ディスクがしっかりとはまっていない。	• ディスクをいったんはずし、もう一度はめ直す。

症状	原因	処置
接続しているテレビの画像が明るくなったり暗くなったり、ノイズが出たりする。（本機の液晶画面以外で）	• コピー防止機能が働いている。例えば、本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクター、AVアンプなどを通してテレビでご覧になると、コピー防止の機能によって正常な映像にならないことがあります。	• 本機とテレビを直接接続する。
再生が始まらない。	• ディスクがはいっていない。	• ディスクを入れる。
	• 本機で再生できないディスクがはいっている。	• 再生できるディスクの種類、テレビ方式やリージョン番号を確認する。
	• ディスクを裏返しに入れている。	• 再生面を下にして入れる。
	• ディスクがななめにはいっている。	• ディスクをきちんと収まるように入れる。
	• ディスクがよごれている。	• ディスクをきれいにする。
	• パレンタルロックが設定されている。	• パレンタルロックを解除、または規制レベルを変更する。
	• 本機の入力の切換を「AV入力」に設定している。	• 入出力切換ボタンを押して、本機の液晶画面に画像が出るようにする。
ディスクで決められたとおりの再生ができない。	• リピート再生、ランダム再生、メモリー再生などをしている。	• これらの再生のあいだは、ディスクで決められたとおりの再生ができないことがあります。
操作ボタンを押しても動作しない。	• 静電気やノイズなどの影響で本機が動作しなくなっている。	• 電源ボタンで電源を入り切りしてみる。または、電源プラグを抜き、もう一度差し込む。
リモコンが動かない。	• リモコンが受光部に向いていない。	• リモコンの送信部を本機の受光部に向ける。
	• リモコンと受光部の間が遠すぎる。	• 約3m以内のところで操作する。
	• リモコンの電池が消耗している。	• 電池を交換する。
	• 本体のリモコン受光部に直射日光など強い光が当たっている。	• 本体を直射日光などを避けるような場所に置く。
本体の操作ボタンを押しても動作しない。	• ホールド機能が働いている。	• ホールド機能を確認し、働いている場合は解除する。

仕様

■ 本体部

電源
　入力端子DC12V（定格電流：2A（最大：バッテリーパック充電時））
　AC100V 50/60Hz（付属のACアダプター使用時）

質量
　650g（バッテリー含む）

外形寸法
　幅138×高さ153×奥行31mm（突起部除く）

信号方式
　日米標準NTSCカラーテレビジョン方式

使用レーザー
　半導体レーザー　波長650nm/795nm

音声周波数特性（デジタル音声）
　DVDリニア音声：
　48kHz サンプリング4Hz～22kHz (JEITA)
　96kHz サンプリング4Hz～44kHz (JEITA)

使用条件
　温度：5℃～35℃
　動作姿勢：水平

受信チャンネル（ワンセグ放送）
　UHF13～62ch

■ 本体端子部

映像・音声入出力（AV入力／出力）
　1.0V(p-p)、75Ω、同期負、
　AV入出力小型端子（∅3.5mm）×1

ヘッドホーン端子
　ステレオミニジャック（∅3.5mm）×1

■ 液晶画面部

画面サイズ
　5型

表示方式
　透過型TN形カラー

駆動方式
　アモルファスシリコンTFT（薄型トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式

画素数
　横400×縦234ピクセル（有効画素率99.99%以上）

■ クレードル部

電源
入力端子DC12V（定格電流：2A（最大：バッテリーパック充電時）） AC100V 50/60Hz（付属のACアダプター使用時）
映像・音声入力（AV入力）
1.0V(p-p)、75Ω、同期負、 AV入力小型端子（∅3.5mm）×1
映像・音声出力（AV出力）
1.0V(p-p)、75Ω、同期負、 AV出力小型端子（∅3.5mm）×1
音声出力（ビットストリーム／PCM音声出力端子）
光コネクター（∅3.5mm）×1
ヘッドホーン端子
ステレオミニジャック（∅3.5mm）×1
スピーカー
内蔵スピーカー×2（左／右） 最大出力1.5W＋1.5W（JEITA）

■ 付属品

AV入力出力端子専用映像・音声接続コード …1本
ワイヤレスリモコン(MEDR50DT JX) …1個
コイン型電池（CR2025）…1個
ACアダプター（ADPV16A) …1個
電源コード …1本
バッテリーパック(SD-PBP05) …1個
クレードル(SD-PCR50）…1個
ヘッドホーン…1個
アンテナ…1本（アンテナ変換プラグ1個）
ケース …1個
専用ポーチ…1個
取扱説明書…1冊

- 意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
- この取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくするために誇張、省略があり実際とは多少異なります。
- 本製品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材料名表示をしています。